(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 4月 21日

愛知県知事殿

提出者

住 所 愛知県西尾市寺津町四ノ割横道西10-1 氏 名 株式会社 ヤマキ 代表取締役 鈴木 英二 電話番号 0563-59-7135

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社ヤマキ				
事	業場の所在地	西尾市寺津町四ノ割横道西10-1				
計	画 期 間	令和 5年 4月 1日~令和 6年 3月31日				
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項				
	①事業の種類	22:鉄鋼業				
	②事業の規模	509,403万円				
	③従 業 員 数	129 人				
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	全量中間処理業者に委託 (添付資料 参照)				

(日本工業規格 A列4番)

産	業廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
	添付資料 参照			
産乳	業廃棄物の排出の抑制に 「			
		【前年度(4	年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	① 現状	排 出 量	4786.97t	513.77t
	① 現状	(これまでに実施した 排出時における、分 産廃置き場の監視・	分別教育	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
		排 出 量	4547.55t	488.48 t
	②計画	(今後実施する予定の 特に予定は無し 分別教育の徹底)取組)	
産	* 	·事項		
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員・産廃の分別未経験者に分別教育を行う		
		7777、上京 庄/元、775、	が別未経験者に分別教育を	.11 9

自	ってう産業廃棄物の再生	利用に関する事項					
		【前年度(4	年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ			
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		(これまでに実施した	取組)				
		無し					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ			
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		(今後実施する予定の	取組)				
		 無し					
自印	ら行う産業廃棄物の中間 「	処理に関する事項					
		【前年度(4 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	O t	O t			
		(これまでに実施した取組)					
		 無し					
		<i>7</i> C					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		(今後実施する予定の	取組)				
		無し					

自ら行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分 に	に関する事項	
	【前年度(4	年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	O t	0 t
	(これまでに実施した無し	上取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	O t	0 t
	(今後実施する予定の)取組)	
	無し		
産業廃棄物の処理の委託	Eに関する事項		
	【前年度(4	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	全処理委託量	4786.97t	513.77t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	97. 53 t
	再生利用業者への 処理 委託 量	4786.97t	416.24t
① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	O t	O t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した	取組)	
		全量再生利用可能とした。 トの移行を考えている。	

(第5面)

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ		
		全処理委託量	4547.55t	488.48t		
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	92.73t		
		再生利用業者への 処理委託量	4547.55t	395.75t		
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t		
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t		
		(今後実施する予定の取組)				
		優良認定処理業者への移行を考えている。				
*	事務処理欄					

産業	養廃棄物の処理に係る管	理体制に関する	事項		
	(管理体制図)				
	添付資料 参照				
産業	検廃棄物の排出の抑制に	関する事項			
		【前年度(4	年度)実績】	
		産業廃棄物の)種類	ダスト	廃油
		排出	量	2758.72 t	5.40 t
	① 現状	(これまでに 排出時にお 産廃置き場	ける、タ	分別教育	
		【目標】			,
		産業廃棄物の	種類	ダスト	廃油
		排 出	量	2620.78t	8.10 t
	②計画 (今後実施する予定の取組) 特に予定は無し 分別教育の徹底				
産業	産棄物の分別に関する	事項			
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員・産廃の分別未経験者に分別教育を行う			
	②計画	(今後分別す 特別には、		の産業廃棄物の種類及び こいない。	分別に関する取組)

自	う行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項				
		【前年度(4	年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	ダスト		廃油	
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		O t		0 t
		(これまでに実施し7	た取組)			
		無し				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	ダスト		廃油	
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		O t		0 t
	911	(今後実施する予定の	の取組)			
		無し				
自	っ行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項				
		【前年度(4	年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	ダスト		廃油	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		O t		0 t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		O t		0 t
		(これまでに実施した取組)				
		無し				
		, o				
		【目標】	1			
		産業廃棄物の種類	ダスト		廃油	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		O t		0 t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		O t		0 t
		(今後実施する予定の	の取組)			
		無し				
1		1				

自ら行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処分に	こ関する事項				
	【前年度(4	年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	O t	O t			
	(これまでに実施した無し	取組)				
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	(今後実施する予定の	(今後実施する予定の取組)				
	無し					
産業廃棄物の処理の委	託に関する事項					
	【前年度(4 年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
	全処理委託量	2758.72t	5.40 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	1674.55t	5. 40 t			
	再生利用業者への 処理 委託 量	1084.77t	O t			
① 現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0 t	O t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	O t			
	(これまでに実施した	(これまでに実施した取組)				
	ダストは、分別教育	を行い、全量再生利用可	能とした。			
	廃炉材は、全量埋め 方法を考慮中で)立て処分である為、再利 *す.	用の			

(第5面)

	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
	全処理委託量	2620.78t	8. 10 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	1572.46 t	8. 10 t			
	再生利用業者への 処理委託量	1048. 32 t	O t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	O t	0 t			
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	0 t			
	(今後実施する予定の取組)					
	優良認定処理業者への移行を考えている。					
	廃炉材の再利用方法の検討					
※事務処理欄						

				乙					
産業廃棄物の処理に係る管	ぎ理体制 は	こ関する	事項						
(管理体制図)									
添付資料参照									
産業廃棄物の排出の抑制は									
	【前年	度(4	年度)	実績】				
	産業原	廃棄物の	種類	廃っ	プラ		木	酻	
	排	出	量		64.	6 0 t		39.	8 2 t
① 現状 (これまでに実施した取組) 排出時における、分別教育 産廃置き場の監視・指導									
	【目標]					I		
	産業原	発棄物の	種類	廃っ	プラ		木	屑	
	排	出	量		58.	1 4 t		37.	8 3
②計画	特に	実施する 予定は 教育の)取組)					
産業廃棄物の分別に関する	5事項								
①現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員・産廃の分別未経験者に分別教育を行う							
②計画				産業廃棄	手物の利	重類及び分	分別に関	する取績	且)

自印	う行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項					
		【前年度(4	年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑			
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	3-71	(これまでに実施した	た取組)				
		無し					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑			
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		(今後実施する予定の	の取組)				
		無し					
-L- '							
目 i	う行う産業廃棄物の中間 「						
		【前年度(4 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	O t	0 t			
		(これまでに実施した取組)					
		無し					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t			
		(今後実施する予定の	の取組)				
		無し					

自ら行う産業廃棄物の埋		 C関する事項			
	【前年度(4	年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑		
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t		
	(これまでに実施した無し	取組)			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑		
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t		
	(今後実施する予定の	取組)			
	無し				
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項				
	【前年度(4 年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑		
	全処理委託量	64.60t	39.82t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	25. 10 t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	64.60t	12.73t		
① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t		
	(これまでに実施した取組)				
		を行い、全量再生利用可能			
	優良認定処理業者へ	の移行。			

(第5面)

		【目標】		
	②計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑
		全処理委託量	58.14t	37.83t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	24.96 t
		再生利用業者への 処理委託量	58.14t	12.87t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
		優良認定処理業者への移行を考えている。		
		廃炉材の再利用方法の検討		
※	事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。